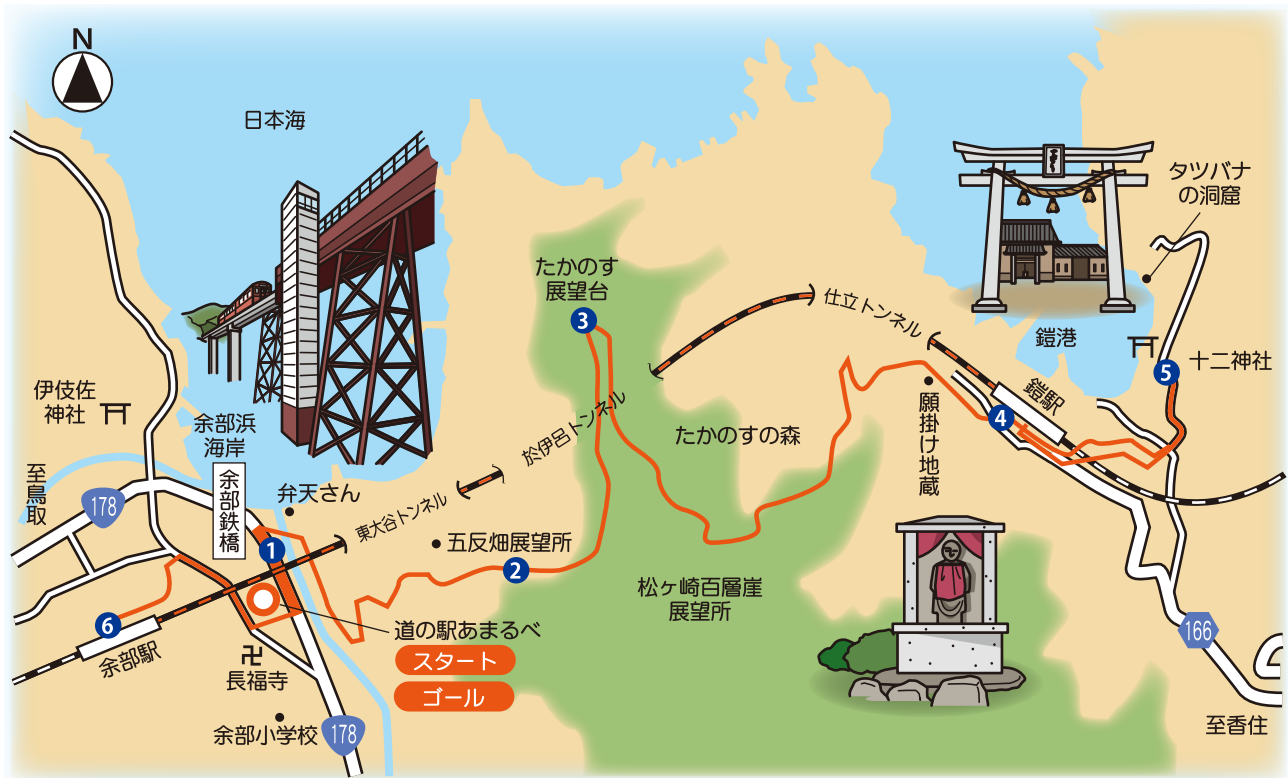


空から見下ろす日本海～空中列車～コース

「空中列車」としての眺望も美しい余部橋梁。「空の駅」では鉄橋跡を歩くことができます。森林浴と余部橋梁や日本海などを景色を眺めつつ「たかのすの森」をこえと、鎧駅からの見渡す絶景が待っています。ウォーキングと空中列車が一度に楽しめるコースです。



- 1 「道の駅あまるべ」をスタートして国道178号を横断し、川にかかった朱色の橋を渡ると余部の海を見守る「弁天さん」が出迎えてくれる。
- 2 そこから集落内を5分ほど進むと「たかのすの森」へとつづく遊歩道に辿り着く。九十九折の土道を15分ほど登ると、余部橋梁付近が見渡せる「五反畑展望所」、さらに5分ほど歩くと「松ヶ崎百層崖」を眺望できる展望所がある。
- 3 そこから5分ほど進んだ「たかのす展望台」で一息入れる。
- 4 「たかのす展望台」から遊歩道を15分ほど下り右手に進むと鎧駅に着く。鎧駅は「青春18きっぷ」のポスターや、朝の連ドラ「ふたりっ子」などの撮影にも使われた無人駅で、1番線ホームからは眼下に透明度の高い海と鎧港など日本海の絶景が広がっている。また、GW期間中は鎧港の上空を気持ちよさそうに泳ぐ約80匹の鯉のぼりを見ることができる。
- 5 駅から集落内へと続く坂道を下り、対岸に見える「十二神社」に参拝し、しばらく鎧の漁村風景を楽しんだあと、再び鎧駅へと戻る。
- 6 鎧駅からJR山陰本線の列車に乗車(乗車は5分程度)し、余部駅を目指す。余部橋梁と余部の海を眺めながら、列車が空中を走っているかのような錯覚を楽しむことができる。

余部駅で降りると、空の駅で余部のまち展望を楽しもう。

明治45年から約100年の間、山陰本線の運行を支えてきた余部鉄橋だが、老朽化のため平成22年にコンクリート橋に架け替えられ、現在は3本の橋脚が保存されて展望施設「空の駅」として生まれ変わった。(H29.9月にエレベーター完成)



- 難易度：★★☆
- トイレ：道の駅あまるべ、鎧駅
- アクセス：
 - ・電車・バス：JR香住駅、全但バス あまるべ浜停留所 下車
 - ・車：道の駅あまるべ
- 問合せ：香美町役場 観光商工課
TEL:0796-36-3355

距離(約)

4 km